

(様式第4号)

第6回 武石地域協議会 会議概要

1 審議会名	武石地域協議会
2 日時	令和5年9月20日(水) 午後7時から午後8時15分まで
3 会場	武石地域自治センター3階 大会議室
4 出席者	金井委員、金子委員、川合委員、小坂委員、児玉(淳)委員、 児玉(守)委員、伊藤委員、小山委員、桜井委員、芝野委員、 城下委員、立岩委員、吉田委員、廣川委員、堀委員、橋詰委員 【欠席委員4名】
5 市側出席者	酒井武石地域自治センター長、白鳥市民サービス課長、岩下産業観光課長、 若林武石教育事務所長、杉浦丸子・武石上下水道課長、横沢交通政策課長、 市川交通政策担当係長、山浦調査計画担当係長、竹内調査計画担当主査、 東城調査計画担当主任、木角交通政策担当主事、下村総合調整幹、 鈴木地域担当、岩井地域政策担当主査、清水地域政策担当主査
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	1人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和5年9月 日

協議事項等

1 開会(副会長)

2 あいさつ(会長、センター長)

(会長) 前回、雲溪荘の部分について協議いただき、まとめた意見書について先月末に上田市長あてに提出した。

(センター長) 前回の地域協議会で、温泉施設の在り方の意見書について審議いただき、提出があった。今後、庁内調整をし、地域協議会の方に回答していきたい。

3 協議事項

(1) 上田市地域公共交通計画の策定について【事前資料 1】(交通政策課説明)

○資料により地域公共交通計画の概要を説明。今後、9月27日(水)から1カ月間パブリックコメントを実施し、市民の皆様からの意見を聞きながら、国交省による助言、長野県のコミュニティアドバイザーの意見を踏まえ内容を精査し、成案としてまとめ年内に公表できるよう進めていく。

【質疑等】

(委員) この計画は誰に対して提案をしているのか。例えば「カーボンニュートラル」と横文字で言われるよりも、高齢者には日本語で標記された方が分かりやすいのではないか。

また、高齢者の問題として挙げられるのは日常の足、交通機関である。武石という場所で考えたときに公共機関を復活させることは難しいかもしれないが、車を取り上げられたとき、車を使えなくなったときに公共としていったい何を助けてくれるのか。公共の本当の意味、役割や利便性などを重点的にやっていると武石という地域から考えると厳しいのではないかと思う。

(交通政策課長) 今後、表記については分かりやすいものとなるよう検討していく。

武石地域については、平成18年2月から武石スマイル号ということでデマンド交通が始まり、現在年間7,000人以上の利用がある。それを踏まえデマンド交通運行ということで武石スマイル号、来月から始まる丸子地域のデマンド交通の関係にも触れ、維持確保が前提となるが利便性の向上という点も触れているので御理解いただきたい。

(会長) 今回の計画は、バスの利便性を上げるなどのソフト面の部分での記載となっているが、ハード面としてはどうしていくのか。道路改良といったハード面を記載する考えはないか。

(交通政策課長) 道路環境についてはまちづくりの都市計画の部分になると考える。この後の協議事項である、都市計画マスタープラン、立地適正化計画の中で触れられると思う。地域公共交通計画は立地適正化計画のネットワークと多極・拠点集約型都市構造を実現していくネットワークの部分を担当するという意味で挙げている。道路状況の内容については公共交通とは異なるかと思うが、立地適正化計画と連動し進めていきたい。

(会 長) 今回の資料の中に「高校生の通学手段の公共交通利用への転換促進」という記載があるが、武石地域の高校生が、朝、本数の少ないバスに利用が集中し車内が混雑してしまうという話も聞く。そのような現状も含めて今後検討いただきたい。

(2) 上田市都市計画マスタープラン及び上田市立地適正化計画の改定について【事前資料 2】

(都市計画課説明)

○資料により都市計画マスタープラン及び立地適正化計画について説明。今後、市民の皆様からの意見を聞きながら、内容を精査し、成案としてまとめ今年度内に作り上げるよう進めていく。

【質疑等】

(委 員) 「上田市都市計画マスタープラン 地域別構想(案)の概要【武石地域】」の中の将来像に「～住んでよかった、訪れてよかったと実感できるまち」という記載があるが、そのためには、10年後、20年後どのようにしたらよいか話題になってくると思われる。例えば、空き家対策で予算が計上されていて武石地域の空き家を解消していくといった計画が予算付けされてあるのか。

また、遊休農地・荒廃地に対する予算の裏付けがあって具体的な施策があるのか。

そうすることによって、地域別構想(案)の概要に裏付けのある提案になると考える。

(調査計画担当係長) 武石地域に限らず、上田市全体の中でも空き家が増えてきている。1年間で上田市の人口千人近く減っている。新しい家もできている。ということは、人口が減る以上に空き家が増えている状況。それに対しどのような対策があるのかというところではあるが、効果的な対策は上田市全体としては見いだせていない状況。空き家の解体に対して補助をする、移住・定住政策として紹介するなどを行っているが、実際に空き家になっていく戸数に対し、効果的な手段にはなっていない。基本方針はこのような形で定め、それに対しどのような対策ができるかをしっかり考えていかないといけない。遊休荒廃地についても全く同じ。今はまだ決定打はないが小さなことから積み上げていければ良いと考える。その辺もこの計画に書き込んでいければ良いと考える。

(委 員) 塩田地域と武石地域を結ぶ交通網を20年後の計画に載せてほしい。かつて、所沢峠にトンネルという話があったが復活させてもらいたい。

(調査計画担当係長) 道路についてはなかなか予算付けが難しく、幹線道路についてはかなり長い年数をかけて作っていくというのが現状。構想として承る。様々な意見を聞き、どういった道路の優先順位が高いかを判断しながら実際の事業に着手していければと考える。その際は、こういったところもあると声を上げていただきたい。

(会 長) 事前資料2の中の3ページ「上田市都市計画マスタープラン 地域別構想(案)の概要【武石地域】」の都市づくり方針④「主要な観光道路である(主)美ヶ原公園沖線、～」とあるが、実際の生活をする上では武石地域から市役所まで30分で行かれる道路づくりが必要と考える。

また、同ページ右端の都市づくり方針⑧が方針⑦とダブって記載されているため修正願う。

(3) 第5回地域協議会協議内容の確認について【事前資料 3】(事務局説明)

- ・委員からの意見、質問なし

4 その他

(1) 令和5年度まちづくり講演会について(事務局説明)

日時：令和5年11月2日(木)午後1時30分～3時30分

場所：上田文化会館ホール

(2) 電気自動車所有状況等に関するアンケート調査の実施について（事務局説明）

(3) 第6回 地域協議会の日程について

日時：令和5年10月18日（水）午後7時～

場所：武石地域総合センター3階大会議室

5 閉 会（副会長）